



夏期の水難防止



水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。

特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの水難が後を絶ちません。

過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する水難が発生しています。また県外の海で遊泳中に溺水する水難も発生しています。

<水難に遭わないための注意点!!>

① 子供から目を離さない

親や保護者が付近にいながら、子供から目を離した隙に、池等に転落する水難が発生しています。子供は活動的で常に動き回ることを念頭に、子供を遊ばせる時は周囲に危険箇所がないかを確認め、手と目の届く範囲で遊ばせましょう。

② 魚釣りや水遊びは複数で

一人で魚釣りや水遊びに出掛けると、万が一水難に遭った際に助けを呼ぶことができません。なるべく複数人で出掛け、ライフジャケットを着用しましょう。

また、子供だけで遊んでいる場合は、周囲にいる人が注意してあげましょう。

③ 危険箇所の点検を

普段は干上がっている河川敷でも、局地的な豪雨によって短時間で水位が上昇する場所があります。各家庭や地域等で、危険箇所を点検するとともに、危険箇所の管理者に事故防止施設の設置を要望するなど、安全対策を講じましょう。



飲酒運転が多発しています!!

松本市内で飲酒運転が多発しており、大変危険な状態です。

飲酒運転は重大事故に繋がる大変危険なものだと改めて認識していただき、

「飲んだら乗るな！」

を徹底して下さい。



※法令が改正され自転車の飲酒運転も取締対象となりました!!

～奈川のこの頃 パート3～